

センドフ大使、JICA研修員らが来福

昨年12月に就任された在日ブルガリア共和国大使館のブラゴヴェスト・センドフ特命全権大使と、JICAの招きで来日したブルガリアの研修員10名が3月10,11日に来福され各種行事を行いました。

センドフ大使は10日、藤田広島県知事を表敬訪問するとともに、研修員一行と平和資料館を見学、原爆慰霊碑に献花を行いました。

同日夜にはウェルサンピア福山で、和やかに歓迎交流会が行われ、友好を深めました。

翌11日には、三好福山市長を表敬訪問したあと、福山大学を訪問。研修員一行はバラ公園やバラ栽培農家の視察など充実した研修を行いました。



藤田広島県知事を表敬訪問（2004年3月10日）



福山大学を訪問（2004年3月11日）



原爆慰霊碑に献花（2004年3月10日）



原爆ドームを見学（2004年3月10日）



福山市のバラ栽培農家を視察（2004年3月11日）



歓迎交流会の後全員で記念撮影（2004年3月10日）

● JICA研修員の皆さんの感想（抜粋）

福山市の印象は？

- ・ 福山市は設備も基幹施設も良くできていて、とても住みやすいところとして印象に残りました。カザンラク市も同じように発展して欲しいです。福山ブルガリア協会の皆さんがとてもあたたかい気持ちで私たちを出迎えてくださり感動しました。
- ・ 特に印象に残っているのは、福山を「バラの街」として有名にするための住民の努力です。
- ・ 静かできれいな街です。

福山市の訪問から学んだことは？

- ・ 毎年どんな風にもばら祭りの準備が行われているか、住民の目を楽しませるようにどんな風にもたくさんのバラを植えると良いのか参考になりました。
- ・ 愛と努力があれば奇跡が起きるということが分かりました。バラに対しての愛が一つの地域を変えることができます。

福山市に対しての提案・意見

- ・ 福山市とカザンラク市のこれからの交流がどんな風に行われるか具体的なプログラムが必要だと思います。そのプログラムが成立して両方の市長の調印が結ばれたらよいのではないかと思います。福山ブルガリア協会がカザンラク市で福山ハウスを造りたいと聞きました。カザンラク市は喜んでその計画を歓迎します。カザンラク市にある「ロザルツィ公園」で福山のバラを植える計画も歓迎します。